

愛のすべて。

開館15周年
特別展

Georges Rouault

L'Œuvre magnifié :
L'Art sacré et la modernité

ジョルジュ・ルオー

聖なる芸術とモデルニテ
2018年

9月29日(土) -
12月9日(日)

◎休館日：水曜日(但し11月21・28日、12月5日は開館)◎開館時間：午前10時より午後6時まで(入館は午後5時30分まで)※10月26日と11月16日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)◎主催：パナソニック 汐留ミュージアム、NHK、NHKプロモーション、東京新聞◎後援：在日フランス大使館/アンステイチュフランセ日本、港区教育委員会◎協賛：光村印刷◎協力：日本航空◎特別協力：ジョルジュ・ルオー財団

パリから、ヴァチカンからルオーの傑作が集結



人間に向けた
ルオーの愛に
出会う。

《マリエラ》 1945年頃 ボンビエタワーセンター パリ国立近代美術館蔵 Photo ©Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / Image Centre Pompidou, MNAM-CCI / distributed by AMF

Shidome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック
汐留ミュージアム



日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises

100
パナソニックは
創業100周年



④

20世紀フランスを代表する画家ジョルジュ・ルオー(1871-1958)。本展は、ルオーの画業の軸である聖なる芸術に焦点をあて、画家が目指した美しい愛のかたちを紹介いたします。

敬虔なキリスト教徒だったルオーは、生涯にわたって「受難」や「キリスト像」などの宗教主題を数多く描きました。そうした主題を通して、人間の苦悩、あるいは慈愛や赦しを表現したルオーの聖なる芸術は、文化の違いや国境を超えて今なお多くの人々を惹きつけてやみません。画題が伝統的である一方、その造形表現は極めて革新的でした。またテーマの根底には、同時代の社会や人間に対する画家の深い理解がありました。本展は、こうしたルオーにおける聖なる芸術の意味とその現代性(モデルニテ)をあらためて問うものです。

みどころは、ヴァチカン美術館が初めて日本に出品する『秋またはナザレット』などの作品群です。また、パリからもルオーの晩年の傑作が多数来日します。国内外の『聖顔』や『聖書の風景』の名品も合わせ、油彩画を中心とする約90点で構成するルオー芸術の集大成となる展覧会です。



②



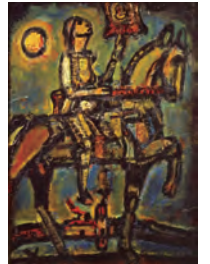
③



⑤



⑥



⑦

①《秋 または ナザレット》 1948年 ヴァチカン美術館蔵 Photo ©Governatorato S.C.V. - Direzione dei Musei ②《聖顔》 1933年 ボンビドゥー・センター パリ国立近代美術館蔵 Photo ©Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / image Centre Pompidou, MNAM-CCI / distributed by AMF ③《青い鳥は目を潰せばもっとよく歌うだろう》 1934年 個人蔵(ルオー財団協力) ④《サラ》 1956年 ジョルジュ・ルオー財団蔵 ⑤《聖心》 1951年 ヴァチカン美術館蔵 Photo ©Governatorato S.C.V. - Direzione dei Musei ⑥《受難(エック・ホモ)》 1947-49年 ボンビドゥー・センター パリ国立近代美術館蔵 Photo ©Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / image Centre Pompidou, MNAM-CCI / distributed by AMF ⑦《我がガジャンヌ》 1948-49年 個人蔵(ルオー財団協力)

⑧ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 E3061 この展覧会は、ジョルジュ・ルオー財団の協力のもと開催されます。Exposition réalisée avec le concours de la Fondation Georges Rouault.

記念講演会

「我が祖父ルオー、そして『ミセレーレ』」

9月29日(土)午後2時～午後3時30分 (逐次通訳付き)

講師：ジャン＝イヴ・ルオー氏(ジョルジュ・ルオー財団理事長)
会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール
要予約(定員200名)

対談

「ルオー芸術における“動的平衡”をめぐる」

芸術に深い造詣をお持ちの生物学者の福岡氏と本展監修者の後藤氏による対談形式の講演会です。

10月27日(土)午後2時～午後3時30分

講師：福岡伸一氏(生物学者・青山学院大学教授)
後藤新治氏(西南学院大学教授・本展監修者)
会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール
要予約(定員250名)

「記念講演会」と「対談」の予約方法

ハローダイヤル(03-5777-8600)へお電話にてお申し込みください。

7月30日(月)より受付開始(受付時間午前8時～午後10時)

《必要事項》

- ①イベント名
- ②参加人数(一度に申し込みいただける人数は2名まで)
- ③氏名(要全参加希望者)
- ④住所
- ⑤電話番号

*聴講は無料ですが本展の観覧券(半券)と予約が必要です。
*ご予約の際は簡単なアンケートにご協力いただきます。
*当日は予約時にお知らせする整理番号を活用してご入りいただきます。
*お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用し、参加希望者はこの目的での使用に同意したものとします。
*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。
*未就学児はご遠慮ください。
*予約受付は先着順、定員になり次第締め切ります。

当館学芸員によるギャラリートーク

10月12日(金)、10月20日(土)、11月10日(土)
いずれも午後2時より、予約不要、参加無料(本展観覧券が必要です)。混雑状況によってはスライドトークに変更となります。

展覧会特製「クリスマスカード」プレゼント

特製クリスマスカードを、開館15周年にちなんで会期中の5のつく平日に、各日先着200名様にプレゼントします。
【配布日】10月5日(金)・15日(月)・25日(木)、11月5日(月)・15日(木)、12月5日(水)

フライデー・ナイト@汐留ミュージアム

10月26日と11月16日の金曜日は夜8時まで開館!
(ご入館は午後7時30分まで)
午後6時以降ご入館のお客様に当日限定のプレゼントをご用意してお待ちしています。
*詳細は当館HPを通じてお知らせします。



〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600
<http://panasonic.co.jp/es/museum/>
[交通のご案内]
JR「新橋」駅より徒歩約8分、
東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、
都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分



◎入館料：一般1,000円/65歳以上900円/大学生700円/中・高校生500円/小学生以下無料
※20名以上の団体は100円割引 ※障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

【次回予告】「子どものための建築と空間展」2019年1月12日(土)～3月24日(日)
【同時開催】ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションから初期作品を中心にテーマ展示をします。併せてご覧ください。